

未来をひらく女の子たちへ – みんなで挑む支援のカタチ

2025年2月12日版

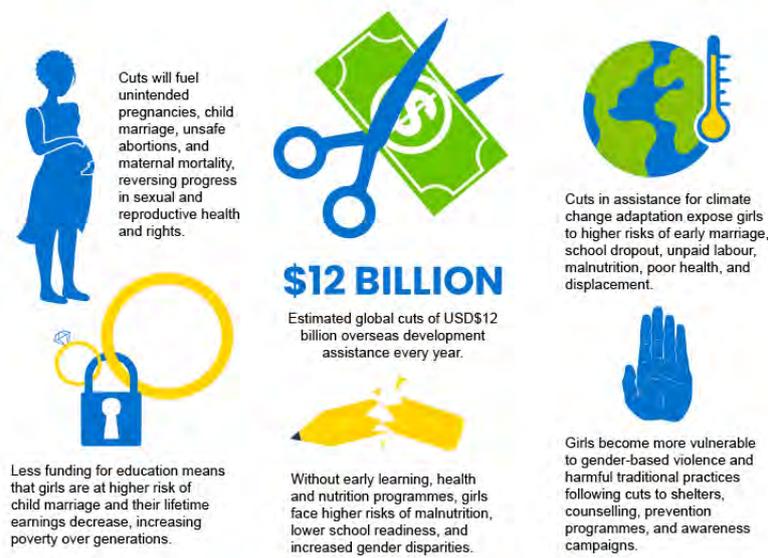
本文書について

このファクトシートは、政府開発援助(ODA)削減とそれが女の子に与える影響について、現時点での情報に基づくものであり、新情報や必要に合わせ随時更新されるものである。

目次

1. 女の子の権利における世界的な転換点
2. 女の子の権利に関するたゆまぬ努力の成果
3. 脅かされた前進
4. プランと連携して女の子の未来に投資する理由
5. ジェンダー平等推進のための実績ある発展性の高いプログラム

女の子の権利における世界的な転換点



Now is the time to fund the future for girls

日々、女の子と女性は差別・権利侵害・暴力にあっている。年間推定120億ドルのODAへの拠出削減は、ジェンダー平等に対する拠出削減が毎年最大50億ドルに達し得ることを意味する。

これらの削減措置に加え、世界的に広がる権利に対する反動の動きは、女の子たちの権利に関するたゆまぬ努力で勝ち取ってきた進展を後退させる恐れがある。

ジェンダー不平等は決して容認できない。現在の進捗のスピードでも、女の子と女性が平等を達成するには134年かかるⁱというのに、ODAの削減はジェンダー平等への達成を更に遅らせることになる。

2019～2022年で、40%の国々がジェンダー平等を停滞または後退させたⁱⁱ。女の子たちとともに立ちあがる緊急行動がなければ、2030年には世界のジェンダー平等が2015年の持続可能な開発目標(SDGs)合意時よりも悪化する可能性もあるⁱⁱⁱ。今日の女の子たちは、母親や場合によっては祖母よりも権利が認められていないというリスクにさらされている。

SDGの目標の4分の3は、ジェンダー平等なしには達成できない。達成期限まであと5年だが、現在の進捗状況は大幅に計画から遅れている。今こそ、ジェンダー平等と持続可能な開発の達成に向けた取り組みを加速させる時である。

女の子の権利に関するたゆまぬ努力の成果

私たちは、この10年間で、女の子や女性の権利に関して前進を遂げてきた。例をあげてみよう。

性と生殖に関する健康と権利(SRHR)

- 15～19歳の思春期の女の子の出産数は、包括的性教育(CSE)や避妊や安全な中絶を含む、性と生殖に関する健康サービスを受ける機会の増加により、2000年以降^{iv}3分の1に減少した。
- 2000～2022年で、世界の妊産婦死亡率が34%減少した^v。
- 過去30年間で、60カ国以上で中絶に関する法律が改正され^{vi}、身体の自律と選択の権利の承認において前進を遂げた。2024年の国際女性デーに、フランスは中絶をする権利を世界で初めて憲法に明記し、更なる前進をみせた。

暴力からの保護

- シエラレオネで施行された大胆な新法は、あらゆる状況下の早すぎる強制された結婚(CEFMU)を全面的に禁止しており^{vii}、コロンビアも2024年、CEFMUを非合法化した^{viii}。
- 2012～2022年で、幼くして結婚した女性の割合は23%から19%に低下した^{ix}。最も前進がみられたのは南アジアで、CEFMUの発生率は10年間で46%から28%に低下した^x。

包摂的で質の高い教育

- 3分の2を超える国々で、小学校入学時にジェンダー平等が実現している^{xi}。
- 2015年以降、新たに入学した女の子が5,000万人増加し^{xii}、初等教育から高等教育までの各教育課程で修了する女の子も500万人増加した^{xiii}。

変革の推進力となる女の子とユース

- COP29では、気候資金での停滞がみられたが、女性・女の子・子ども・ユースは、気候変動対策での主要なステークホルダーとして認識された。

ジェンダー別および年齢別のデータを重視する、強化された10年間のリマ作業計画の採択は、より包括的な気候政策への有望な道筋を提供している。

- 2024年、ガーナは、女性の公生活への積極的かつ段階的な参加を推進する男女平等法を制定し、2030年までに女性代表の割合を最低30%から50%に引き上げることを目指している^{xiv}。
- 「Equal Measures 2030 Index」によると、世界全体では、議会における女性の割合（指標5.4）が着実に改善しており、2019年から2022年の間に「急速な進歩」を遂げた国の割合はほぼ半数（48%）に達している。

脅かされた前進

女の子の権利の進展は、政府の援助予算の削減やジェンダー平等への投資の減少によって脅かされている。

2025年以降もODAの削減を計画している政府が複数あるため、私たちは、世界全体で毎年少なくとも120億ドルのODA予算が削減されると推定している。同時に、ジェンダー平等に向けた資金も停滞または減少している。私たちは、この傾向が今後も続き、ジェンダー平等（および女の子の権利）の格差が今後さらに拡大すると予想している。

世界的な資金ギャップ

政府は持続可能な開発の最大の資金提供者であり、自国およびその他の国々でSDGsの推進に取り組んでいる。開発資金の調達方法について最善のアプローチをめぐる議論が続いている一方で、ODAの資金調達レベルは、女の子たちの未来を支える世界的なリソースの現状を測る上で最善の指標となっている。

OECD開発援助委員会の加盟国は、ODAにジェンダー平等目標を含めている。2019～2020年には、ジェンダー平等を主な目的または重要な目的とする資金は、二国間割り当て可能ODAの45%という記録的な割合に達した。

ジェンダー平等に対する拠出総額は、2019～2020年の570億ドルから、2021～2022年には604億ドルに増加した。だが、二国間割り当て可能ODAに占めるジェンダー関連の資金提供の割合は45%から42%に減少し、それ以来停滞したままである^{xv, xvi}。世界のODAの年間推定削減額が120億ドルであることを踏まえると、ジェンダー平等に向けた資金提供が50億ドル以上失われる可能性があることを示唆している。

米国政府によるジェンダー平等へのこれまでの投資の潜在的な損失だけでも、2023年には26億ドルに達する可能性がある。それは以下を引き起こすことを意味している。

- 毎年、就学する女の子が1,800万人以上減少
- 毎年、経済資源を入手できる女性が470万人減少
- 毎年、心理社会的支援・事例管理・ジェンダーに基づく暴力(GBV)のコミュニティベースの対策を享受できる個人が420万人減少

人道支援活動もまた、資金不足の影響を受けており、2024年は、人道支援に必要な資金の43%しか確保できていなかった。

女の子とジェンダー平等に関する成果への影響

資源が不足すると、通常、女の子や女性が最初に、そして最も深刻な影響を受ける。これらの追加的な削減は、経済的・社会的損失を計り知れないものとし、過去10年間の進歩を大幅に後退させる可能性がある。

世界的なODA削減の影響には以下が含まれる。

SRHR

- 何百万人もの女の子が危機に瀕する。削減は、早すぎる妊娠・CEFMU・危険な中絶・妊産婦死亡・ジェンダー不平等を招き、世界的な健康と人権に関する数十年にわたる前進を覆すことになる。
- 低・中所得国で、毎年15～19歳の女の子の妊娠が2,100万件以上起き、そのうち半数は望まない妊娠である^{xvii}。

暴力からの保護

- 女の子はGBV・搾取・虐待・有害な伝統的慣習に対して一層脆弱になり、生命の危機に陥る。ODAは、法的保護・シェルター提供・相談サービス・予防プログラム・コミュニティへの啓発キャンペーンの支援など、重要な役割を果たす。
- 女性性器切除は過去8年間で15%増加しており、今後も増加すると考えられている^{xviii}。

包摂的で質の高い教育

- 女の子は教育を妨げるさらなる障壁に直面しており、支援が打ち切られると、これらの課題は悪化し、彼女たちの将来・ジェンダー平等・経済発展に長期的な影響を及ぼすことになる。
- 教育面での進歩にもかかわらず、世界中で思春期の女の子は、思春期の男の子に比べて、教育・雇用・訓練のいずれも受けていない可能性が2倍高い^{xix}。
- 女の子の中等教育に投資しない場合、女の子の生涯収入の劇的な減少・国の成長率の低下・CEFMUの発生率の増加・乳幼児死亡率の上昇・妊産婦死亡率の上昇・子どもの発育阻害の発生率の増加が起こる^{xx}。

経済的エンパワーメント

- 女性や女の子は貧困と依存のサイクルに陥り、家庭や社会における経済参加におけるジェンダー不平等を拡大し、長期的な経済成長を損なうことになる。
- 世界経済への影響は、7兆ドルに上る可能性がある^{xxi}。

乳幼児の発達

- 早期学習プログラム・健康と栄養に関する取り組み・保育サービス・保護者支援プログラムがなければ、女の子は栄養不良・死亡・不十分な就学準備・ジェンダー格差拡大への高いリスクにさらされることとなり、それは生涯にわたる不利な状況を生み出すことになる。

人道支援と気候変動

- 緊急事態に置かれた女の子は、暴力・CEFMU・搾取・栄養不良・教育機会の喪失といった、高いリスクにさらされている。人道危機下での食料・医療・SRHR・教育・保護・心理社会的支援の提供のためには、ODAが必須である。
- 気候変動への適応・緩和に対する拠出金の削減は、女の子をCEFMU・中途退学・無償ケア労働・栄養不良・体調不良・避難への高いリスクにさらすことになる。
- 女の子は、気候変動対策やグリーン経済に貢献する機会が減る可能性がある。
- 2050年までに、気候変動により新たに1億5,800万人の女性と女の子が貧困に陥り、2億3,600万人の女性が飢餓を経験する可能性がある。

プランと連携して女の子の未来に投資する理由

規模と対象

プラン・インターナショナルは、子どもの権利と女の子のための平等を推進する公正な世界の実現を目指して、80カ国以上で、紛争や緊急事態下を含め、女の子・男の子・ユースに大きな変革をもたらすために活動している。

私たちの変革を生み出す力は、複数の資金に支えられている。プラン・スポンサーシップや個人からの寄付により、私たちはコミュニティを基盤とした長期的な取り組みを通じて、120万人の子どもを支援している。これは、コミュニティの内外でプラン・スポンサーシップを通じた活動を展開し、6万3,875のコミュニティと4,304万4,338人の子ども(2024年は232万4,631人が女の子)を支援する基盤となっている^{xxii}。

現地に焦点を当てる

プラン・インターナショナルは、現地主導のグローバルな組織となることを目標としている。スポンサーシップによるアプローチでコミュニティに長期的に関わることで、子どもやユース、そしてその家族とともに成長する協力関係に投資することが可能となる。

例えば、2024年では、私たちはEquality Acceleratorの手法を通じて、ジェンダー平等実現のために活動する128のユース主導の組織に50万ドル超を直接支給した。

また、ローカライゼーションとは、現地のパートナーの能力の強化にもつながる。Keystone Partnershipの独自調査によると、プラン・インターナショナルは「総合的評価」の得点が同部門の他団体より平均2倍高く、専門性と判断力では2.5倍高かった。

女の子の人生を変える

プラン・インターナショナルは、相互に関連する3つの面での変化に焦点を当てている。

- 社会規範、特に有害なジェンダー規範や関連する意識・行動に変化を起こすこと
- 人びとの個人的・社会的・経済的な資産とセーフティネットを強化すること
- 様々なレベルでの適切な政策・立法・予算・行政サービスの実現に貢献すること

優先活動分野

包摂的で質の高い教育

プラン・インターナショナルは、子ども、特に女の子が人生で活躍するために必要な教育を享受できるように取り組んでいる。

- 2024年には包摂的で良質な教育支援により、1,779万7,054人の子どもと大人(うち女の子は526万3,649人)の支援を達成。

変革の担い手となるユース

私たちは、女の子や男の子、ユースが、自身のコミュニティ内での変化を先導し、上位レベルでの決定に影響を与えることで、自身の生活に影響する決定を形成するのを支援することを目的としている。

- 2024年には484万3,818人の子どもと大人(うち女の子は112万4,164人)が活動的な市民になるよう支援した。

経済的エンパワーメント

社会から疎外されたユース、特にユース女性が知識とスキルを習得し、機会を得て、自身で選んだディーセント・ワークに積極的に従事できるよう、私たちは活動している。

- 2024年には455万6,250人の子どもと大人(うち女の子は77万529人)のスキル向上と就労機会の獲得を支援した。

SRHR

私たちは、女の子とユース女性が自身の身体に起こることや、結婚の是非/時期/相手等、自身の人生の決断を下す権利の行使を支援している。

- 2024年には3,202万7,752人の子どもと大人(うち女の子は75万4,899人)を支援した。

乳幼児の発達

私たちは、保護者やコミュニティ組織、政府機関などによる活動を支援し、女の子と男の子が生き延び、健やかに成長し、可能性を最大限に発揮するために必要なケアや支援を受け、サービスを楽しむのを目指している。

- 2024年には2,991万1,151人の子どもと大人(うち女の子は855万1,857人)を支援した。

暴力からの保護

私たちのプログラムは、子どもやユース、特に女の子が暴力・恐怖・差別のない環境で成長できるのを目指している。

- 2024年には1,876万4,429人の子どもと大人(うち女の子は597万3,724人)を対象に、暴力から守り、ジェンダーに配慮した事業を展開した。

人道支援

私たちは、緊急事態前/中/後において、子ども、特に女の子の権利を保護・擁護している。2024年には以下を達成した。

- 1,220万人の子どもと大人(うち女の子は320万人)を支援した。
- 局地的な対応から、国家・地域レベルの大規模な緊急事態まで、87件の災害に対する支援活動を実施した。

実績のある、拡大可能なジェンダ - 平等推進プログラム

プラン・インターナショナルは、女の子とそのコミュニティと長年にわたる連携により、持続的な変化を生み出し、ジェンダー平等を達成するために必要なプログラムや政策上の解決策を特定してきた。私たちは、必要な場所であればどこでも実施できる、実証済みの拡張可能なプログラムモデルを持っている。

必要な資金を提供することで、私たちは力を合わせて、女の子たちの平等をより早く達成することができる。

皆が平等になるまで、私たちは止まらない。あなたは？

幼児期の発達 - I am Ready!

- 自己管理スキルと健康的な食事の教育や、運動・遊び・ゲーム・屋外活動の促進を行うことで、子どもの身体・言語・認知・社会性・情動面のスキルの発達を目指している
- 主な対象集団: 3~6歳の子ども
- 現在、ラオス・タンザニア・ミャンマーで実施
- 同モデルでは、ラオスで、プログラムに参加した子どもの就学前教育から小学校への進学率が、介入がなかった子どもより37%高いことが確認された。また、タンザニアの対象地域では、乳幼児教育を女の子も男の子もほぼ普遍的に(94%)利用できた。

思春期向けプログラミングツールキット

- 思春期の若者自身が特定したジェンダー・年齢特有のニーズや優先事項に対応するように設計され、特に女の子や危機に瀕する思春期の若者を考慮した思春期の若者に配慮したプログラム
- 主な対象集団: 思春期の女の子と男の子、ユース女性/ユース
- 現在、コロンビア・エクアドル・ペルー・ニジェール・ナイジェリア・カメルーン・南スーダン・エチオピア・ルワンダ・マラウイで実施
- 同モデルを通じて得られたプロジェクトの成果の一部として、保護の享受が79%達成、SRHRの認識と享受が73%向上、そしてユース貯蓄グループへの参加による貯蓄文化の81%改善が確認された

18+ Ending CEFMU

- 同プログラムの全体目標は、女の子・家庭・コミュニティ・政府という複数のレベルで活動し、CEFMUの撲滅に貢献することである
- 現在、レバノン・ヨルダン・エジプト・スーダン・南スーダン・エチオピア・ケニア・タンザニア・マラウイ・ザンビア・ジンバブエ・モザンビーク・ウガンダ・ルワンダで実施

Young Citizen Score Cards

- 子ども・ユース・他のコミュニティ住民が、政府サービスの状況を追跡・評価し、改善できるよう、簡単な手法を習得させるための社会的説明責任の取り組み
- 現在、バングラデシュ・ベナン・カンボジア・エジプト・インド・ケニア・ペルー・フィリピン・トーゴ・ウガンダ・ベトナム・シエラレオネで実施

Safer Cities for Girls

- 公共の空間における女の子の経験を変えることを目指しており、都市で女の子が遭うハラスメントや差別に積極的に取り組んでいる
- 現在、インド・ベトナム・ソロモン諸島・フィリピン・カンボジア・バングラデシュ、ウガンダ・エジプト・ケニア、ペルー・パラグアイで実施
- 4万人超の女の子・2万5,000人の男の子・4,000人の交通関係者・2,500人の政府関係者・70万人のコミュニティ住民に提供

Champions of Change

- ユースの参加を通じてジェンダー平等と社会規範の変革促進を目指すコミュニティ規模の戦略。同取り組みは、思春期の女の子と男の子がジェンダー問題に関して内省し、意識を変革し、権力構造に挑むことができる、グループ対話や安全なスペースの提供を含む。
- 現在、グアテマラ・エルサルバドル・ドミニカ共和国・ブラジル・コロンビア・エクアドル・ポリビア・ペルー・セネガル・ギニア・ニジェール・ベナン・トーゴ・カメルーン・エジプト・スーダン・南スーダン・エチオピア・ウガンダ・ルワンダ・タンザニア・モザンビーク・ザンビア・マラウイ・ジンバブエ・インド・ネパール・バングラデシュ・ミャンマー・タイ・カンボジア・ベトナム・インドネシア・フィリピン・東ティモール・ソロモン諸島・ラオスで実施

CSE

- CSEプログラムと影響力のあるロールモデルは、あらゆる子ども・思春期の若者・ユースが、自身と仲間を支援し、身体・性・人間関係について自律的で健全な意思決定を行うための知識・意識・スキル・能力を身につけ、スティグマ・差別・負の規範に挑むことを可能にする
- 現在、エルサルバドル・エクアドル・ペルー・ポリビア・パラグアイ・ギニアビサウ・シエラレオネ・ブルキナファソ・トーゴ・ベナン・スーダン・南スーダン・エチオピア・ルワンダ・タンザニア・マラウイ・ジンバブエ・ネパール・バングラデシュ・ミャンマー・ラオス・ベトナム・カンボジア・フィリピンで実施

エンパワーメント - 暴力からの保護

- 子ども・ユース・女の子・ユース女性への暴力を理解・阻止・対応し、保護制度・サービスの改善を提唱するためのコミュニティベースの保護の取り組み
- 現在、カンボジア、マラウイ、トーゴ、グアテマラ、コロンビア、エジプト、ルワンダ、東ティモール、ザンビアで実施

脚注

- i <https://www.weforum.org/publications/global-gender-report-2024/>
- ii <https://equalmeasures2030.org/2024-sdg-gender-index/>
- iii Equal Measures, 2024. [A gender equal future in crisis?](#)
- iv WHO, 2024年。データは[こちら](#)入手可能
- v ユニセフ、2025年。データは[こちら](#)入手可能
- vi Center for Reproductive Rights, 2025年。データは[こちら](#)入手可能
- vii <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2024/07/sierra-leone-historic-bill-to-end-child-marriage-passed-sustained-efforts-to-raise-community-awareness-must-now-follow/>
- viii <https://plan-international.org/news/2025/02/07/colombias-child-marriage-ban-comes-into-effect/#:~:text=The%20bill%20was%20officially%20enacted,to%2018%20with%20no%20exceptions.>
- ix https://data.unicef.org/wp-content/uploads/2023/05/IS_an_End_to_Child_Marriage_Within_Reach-3.pdf
- x <https://data.unicef.org/wp-content/uploads/2018/07/Child-Marriage-Data-Brief.pdf>
- xi <https://documents1.worldbank.org/curated/en/099325104102423499/pdf/IDU16b5243a915da214013183cd1dc858379e2bc.pdf>
- xii GEM Report, 2023年。データは[こちら](#)入手可能
- xiii <https://www.unesco.org/en/articles/progress-girls-access-education-what-new-unesco-data-reveals>
- xiv <https://moi.gov.gh/newsroom/2024/08/affirmative-action-act-2024-gender-equity-passed-by-parliament/>
- xv https://www.oecd.org/en/publications/development-finance-for-gender-equality-2024_e340afbf-en/full-report/component-6.html#section-d1e1214-f3dbf6e374
- xvi <https://donortracker.org/topics/gender>
- xvii <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/adolescent-pregnancy>
- xviii <https://data.unicef.org/resources/female-genital-mutilation-a-global-concern-2024/>
- xix <https://www.unicef.org/media/153476/file/Five-Game-Changing-Priorities-With-and-For-Adolescent-Girls.pdf>
- xx <https://www.unicef.org/education/girls-education>
- xxi <https://www.unwomen.org/en/what-we-do/economic-empowerment/facts-and-figures>
- xxii <https://plan-international.org/publications/worldwide-annual-review-2024/>